

報道関係者各位

2017年03月07日

Press Release

ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング株式会社

自動運転システム開発に不可欠な“移動体 GNSS 精密データ” 「Mobile GNSS Field Data set」 全国版のパッケージ販売に向け、収集走行を開始

衛星測位システム設計／製造／販売を手がける、ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：前田裕昭）は、自動運転など移動体の高精度測位システムに欠かせないビッグデータとなる、全国主要道路における精密な GNSS（全地球航法衛星システム）データの収集走行を開始しました。

データ収集走行開始の背景

衛星測位を利用した農業機械や建設機械の自動運転はすでに実用化段階ですが、これまで難易度が高かった公共道路を高速走行する自動車の自動運転技術は、近年のセンサー、画像認識、AI 技術の急速な進歩、さらに準天頂衛星システム（日本版 GPS）を利用したセンチメートルレベルの高精度測位への期待から、日本国内各社の開発競争が加速しています。

こうした自動運転システムや移動体用の衛星測位応用技術には、実車走行試験前の開発、試験、チューニング段階で、精度が高くバリエーションに富んだ大量のフィールドデータが不可欠で、かつ評価のためには同時取得した精密リファレンス位置データが必要です。

収集したデータの活用について

2017年12月までに収集を終え、その後整備を行ったデータパッケージ「Mobile GNSS Field Data set」の販売と、移動体応用技術開発用の高精度測位システム製品の販売を計画しています。

「Mobile GNSS Field Data set」は、フィールドデータ、精密なリファレンス位置データをワンパッケージで提供することにより、高精度なデータ収集のシステム構築から全国走行、データ整備にかかる時間、工数、費用を大幅に削減し、利用各社における開発の効率化と加速に寄与します。

本リリース / 製品やサービスに関するお問い合わせ

ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿 6 丁目 12-5-502

TEL : 03-3353-4668 E-mail : support@lighthousec.jp URL : <http://lighthousec.jp/>

広報担当：中村

Mobile GNSS Field Data set の詳細

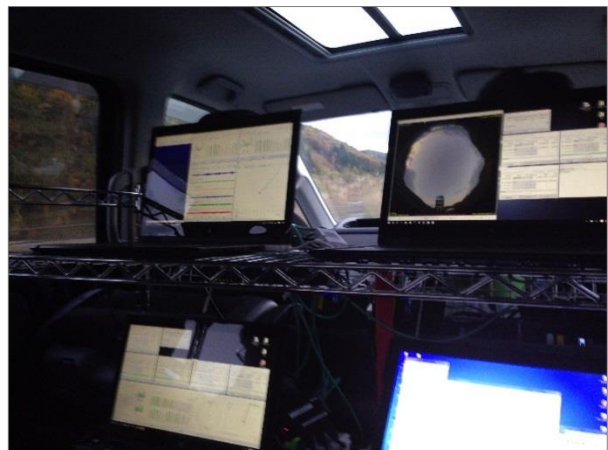
コース名	シーズン	走行距離
東日本 高速/有料/一般道路	春/夏/秋/冬	
西日本 高速/有料/一般道路	春/夏/秋/冬	
市街地 高速/一般道路	春/夏/秋/冬	
パッケージトータル	3コース×4シーズン	20,000 マイル (約 32,000 km)

データセット名	内容	主な用途
車載 GNSS 受信機データセット	生観測データ/LEX・L6 補強データ	プレイバック再生用
精密リファレンス位置データセット	位置/速度/姿勢	評価用
周辺障害物データセット	点群/画像 (上空、前方、後方)	評価用

プレスリリース画像



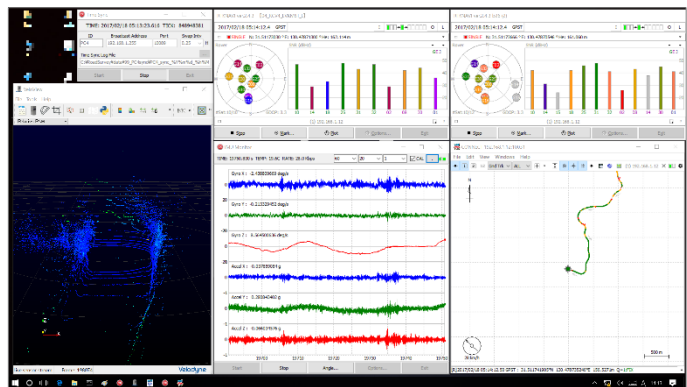
GNSS データの収集走行を開始



高精度なデータ収集



高速・有料・一般道路を走行

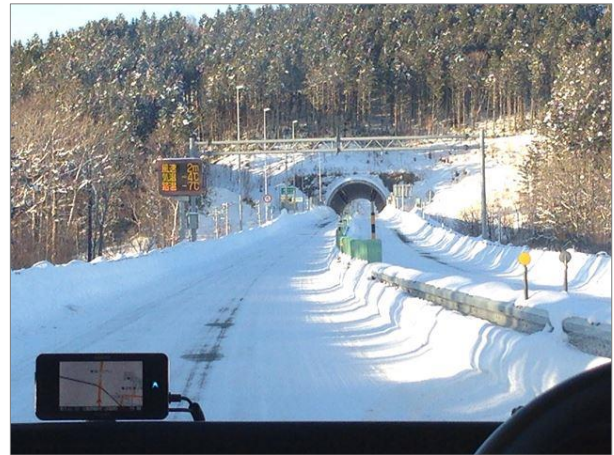


データ収集・モニタ画面 1

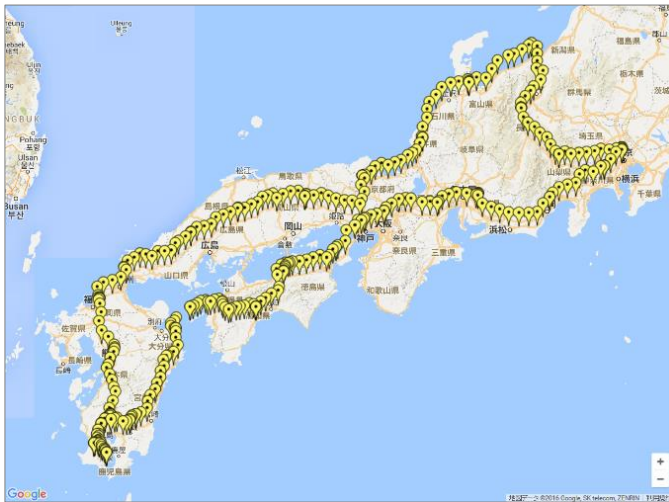
プレスリリース画像



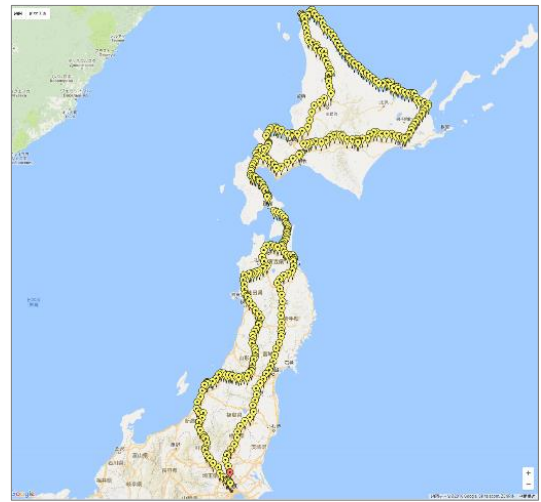
春～冬まで4シーズンのデータを収集



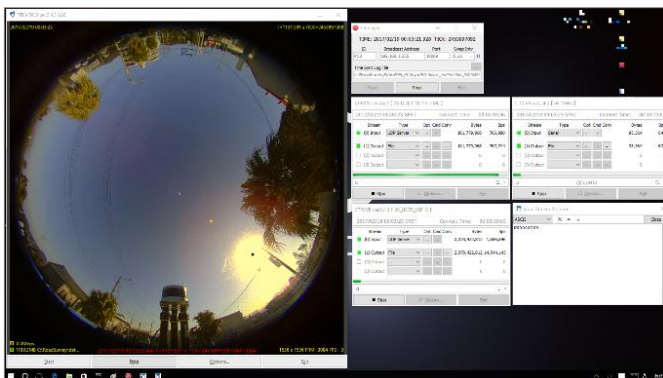
冬の高速道路



全国主要道路の精密な GNSS データを収集
(西日本)



全国主要道路の精密な GNSS データを収集
(東日本)



データ収集・モニタ画面2